

# バスパネルBTj・EX・WJ・U／親水バスパネルBTj バスミュール・サニタリーゾーンパネル

## 施工説明書

このたびは、フクビ製品「バスパネルBTj・EX・WJ・U／親水バスパネルBTj／バスミュール・サニタリーゾーンパネル」をお買い上げくださりまして有難うございました。下記の施工説明をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

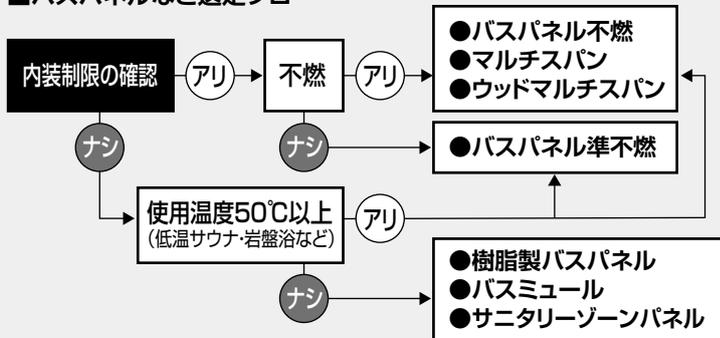
※以下、「バスパネルBTj・EX・WJ・U／親水バスパネルBTj」を樹脂製バスパネルと記します。

※バスミュール、サニタリーゾーンパネルを浴室リフォーム工法でご使用の場合は、別途「浴室リフォーム工法」の施工説明書をご参照ください。

### ■設計の注意

- 室温が50℃以上となる岩盤浴やサウナなどには、樹脂製バスパネル・バスミュール・サニタリーゾーンパネルを使用しないでください。
- トップライトなどで直射日光が当たる壁面には樹脂製バスパネル・バスミュール・サニタリーゾーンパネルを使用しないでください。
- 暖房用排気口からの温風が直接当たる位置には樹脂製バスパネル・バスミュール・サニタリーゾーンパネルを使用しないでください。
- 給湯配管・蒸気配管には必ず保護カバーを取り付け、30cm以上離して樹脂製バスパネル・バスミュール・サニタリーゾーンパネルを施工してください。
- 樹脂製バスパネル・バスミュール・サニタリーゾーンパネルには60℃を超える熱湯をかけないでください。

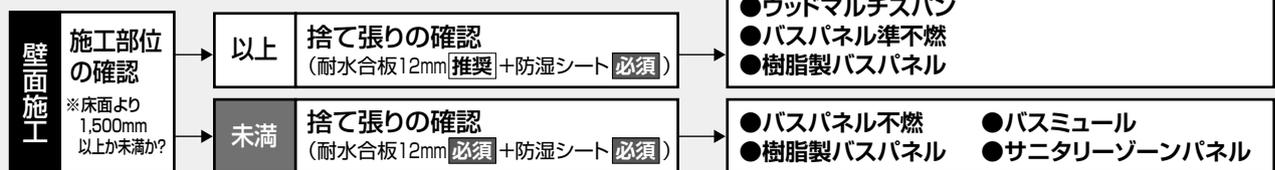
### ■バスパネルなど選定フロー



注1: 高温サウナ(80℃以上)の場合は、バスパネル不燃を選定。  
注2: 強酸性(pH3以下)・強アルカリ性(pH10以上)・硫酸イオン濃度1,000mg/L以上の温泉等の場合は、アルミを腐食するおそれがあるため、バスパネル不燃・準不燃、マルチスパン・バスミュール・サニタリーゾーンパネルは使用不可。  
※樹脂製バスパネルを使用する場合は、内装制限の規定に従い、使用できる場合に限る。

### ■壁面施工に関する制限

#### ●施工部位の高さ別選定フロー



### ■施工部位の高さ別対応下地

※△: ヨコ胴縁間のパネルを押し込むとたわむ可能性があります。

#### 樹脂製バスパネル／バスミュール／サニタリーゾーンパネル

下地	床面から1,500mm未満	床面から1,500mm以上	床面から1,800mm以上
耐水合板	●	●	●
パネルピッチの軽量鉄骨	×	●	●
ヨコ胴縁303mmピッチ	×	×	△
ケイカル板	×	×	×

### ■使用可能なpH値および水質 ※バスミュール／サニタリーゾーンパネルにおいて



●水質  
硫酸イオン濃度1,000mg/L未満 使用可能です。◎

※pH値や水質がその範囲内の温泉であっても、1ヶ月に一度は水洗いをしてください。(濃度の上昇を防ぐため)

### ■製品の対応下地と施工方法

樹脂パネル呼称	天井				壁			
	下地	捨張りの	防湿シート	取付け	下地	捨張りの	防湿シート	取付け
バスパネルBTj 親水バスパネルBTj	軽量鉄骨	—	防湿シート	ビス	軽量鉄骨 木	耐水合板	防湿シート	取付け
	木	耐水合板	バリアエース	釘				
バスパネルWJ	軽量鉄骨	—	防湿シート	ビス	軽量鉄骨 木	耐水合板	防湿シート	取付け
	木	耐水合板	バリアエース	釘				
バスパネルEX	木	耐水合板	バリアエース	釘	木	耐水合板	防湿シート	釘
バスパネルU	木	耐水合板	バリアエース	釘	木	耐水合板	防湿シート	釘
バスミュール	木	耐水合板	バリアエース	釘	木	耐水合板	防湿シート	釘
サニタリーゾーンパネル	木	耐水合板	バリアエース	釘	木	耐水合板	防湿シート	釘

## ■施工上の注意

- 製品の搬送時は、必ず手で持ち運んでください。肩乗せして運ぶこと、不安定な片持ちをすることは厳禁です。片持ちをすると折れ曲がる恐れがあります。
- 製品の施工時には軍手を着用してください。
- 施工時の汚れが残らないように、切り粉・手垢・汗・汚れ等が付着した場合は、速やかに除去してください。
- ロットにより色調、光沢にばらつきが生じる場合があります。ご了承ください。
- 下地のレベルが正確でない、またはビスの締めすぎ・ゆるみなどでパネルが水平でない状態になると乱反射により、色ムラに見える場合があります。(右下図)
- 湿気抜きのため、浴室には必ず換気口を設けてください。湿気の多い浴室では、電動換気扇を設置し十分換気を行ってください。
- 照明器具を取付ける場合は必ず下地を組み、下地に取付けてください。取付け後パネルとの隙間が生じた場合は、必ず防カビ剤入りでクリア色のシーリング材を充填してください。
- バスパネルBTj・バスパネルWJ・親水バスパネルBTjを軽天に取付ける際のビスは、軽天ビスラッパタイプ(フレキタイプは不可)を使用してください。

### ●軽天ビス(ラッパタイプ)

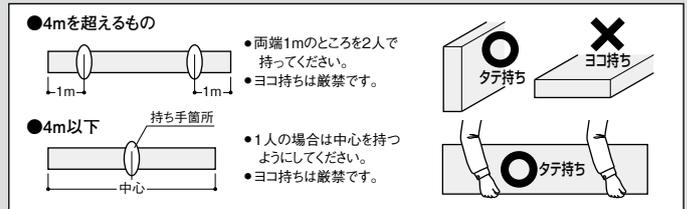


### ●フレキビス



- 施工時に投光器を使用する場合は、パネルから1m以上離してください。反り、変形、変色の原因となります。
- 暖房用遠赤外線ヒーターにさらされると変色する場合があります。製造メーカーに確認の上、遮熱板などを購入し、直接熱が当たらないようにしてください。
- 右図のような天井面にパネルを施工する際は、右表のR施工可能範囲に従って施工してください。

## ■4mを超える長尺物の搬送(梱包状態・収用状態とも) ※必ず2人以上で行ってください。

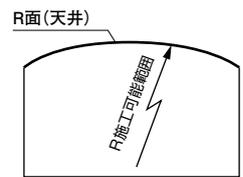


※下地が不揃いの場合、パネルに色ムラが目立つようになります。ご注意ください。



## ■R施工可能範囲

バスパネル種類	R施工可能範囲
バスパネル不燃	不可
バスパネル準不燃	R7,000mm以上
アルミ系別売部材	
バスパネルBTj	R5,000mm以上
バスパネルWJ	
樹脂系別売部材	

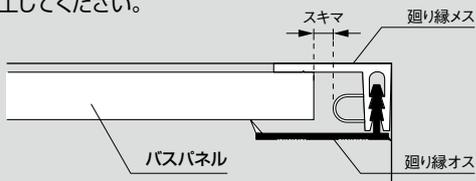


※R施工対応製品と最低R寸法は上記の通りです。この数値はパネル長手方向のものであり、巾方向ではありません。また、ビスピッチは303mm以下とします。

## ■温度変化に伴う寸法変化と施工上の注意

- 樹脂製バスパネル・バスミュール・サニタリーゾーンパネルは夏など(高温時)に膨張し長くなり、巾も広くなり、逆に冬など(低温時)は収縮しますので、下記事項に注意して施工してください。

- 製品の長穴の中央に、木下地の場合釘打ちを、軽量鉄骨下地の場合軽天ビス留めをしてください。この部分で長さ方向の伸縮を吸収できるようにしております。また、嵌合部分ではクリアランスをもつことで、目地調整とともに巾方向の動きを吸収できるようにしております。
- 廻り縁と樹脂製バスパネル、バスミュール、サニタリーゾーンパネルとの取り合いは、下図のようにあらかじめ逃げ用の隙間を取ってください。(夏場の施工は逃げの隙間は不要です)巾方向には8mmごとにジョイント部材を施工してください。



### ⚠注意

- 廻り縁を壁面に取付けずにバスパネル本体だけで施工されるのは線膨張による逃げ場がゼロとなるので、必ず廻り縁を使用し、10°C以下の施工の場合はスキ間(3mm)を開けて施工してください。

- 製品のL寸法はすべて余裕長さを取っております。表示寸法通りではありませんので、割り付け時にご確認ください。

L=2,000mm+5~15mm	2000 +15	3000 +15	4000 +15
L=3,000mm+5~15mm	- 0	- 0	- 0
L=4,000mm+5~15mm			

- 製品の中はすべて土の公差があります。施工する際にはご注意ください。同じ製品でも、製造ロットが異なる場合は特にご注意ください。

単位: mm

WJ	+1.2
	-0.8
BTj	+1.0
	-0.5
EX	+1.2
	-0.8
U	+1.0
	-0.5
バスミュール・サニタリーゾーンパネル	±1.0

## ■施工後のメンテナンス

- 一番大切なのは日頃のお手入れです。水洗い程度で結構ですので、こまめに実施してください。日頃のお手入れを怠りますとこびりついた汚れが落ちにくくなり、カビ発生の原因となります。
- 汚れが付いたときは、浴室用中性洗剤をスポンジまたは柔らかい布に含ませて拭き取り、水洗いしてください。
- 研磨剤入り洗剤・金属たわし等の使用は避けてください。表面の塗装を傷つける恐れがあります。
- 殺菌灯は使用しないでください。直接パネルに照射されると変色します。
- 除菌剤・消毒剤・カビ取り剤などは用法に従い、塗布後は速やかに水で洗い流してください。またその際には天井面にも水をかけて、十分に洗い流してください。洗浄成分が蓄積するとバスパネル表面が変色・変質するおそれがあります。

## ■ 施工順序

「①壁」⇒「②天井」の順で施工します。

## ■ 施工手順

### ① 壁の施工

1. 下地(スタッドや胴縁)の施工 p.4

2. 耐水合板※12mmの施工 p.4

3. 防湿シート(バリアエース)の施工 p.4

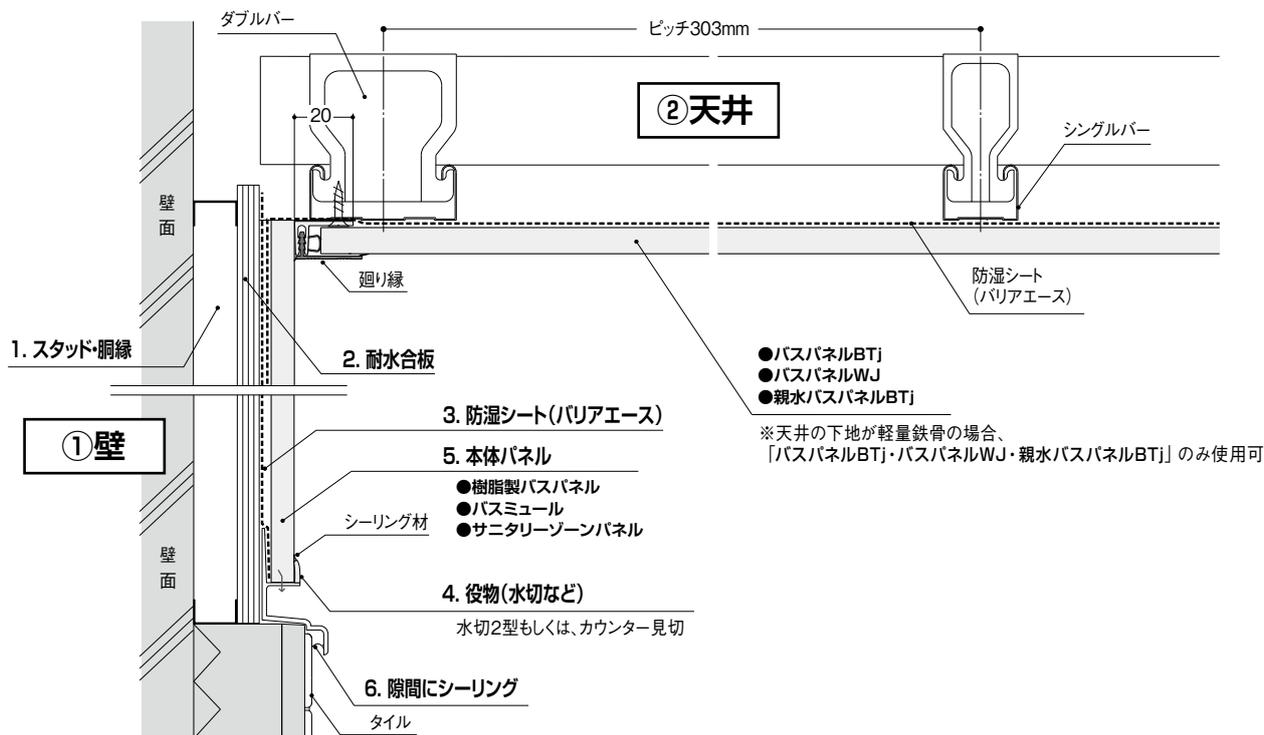
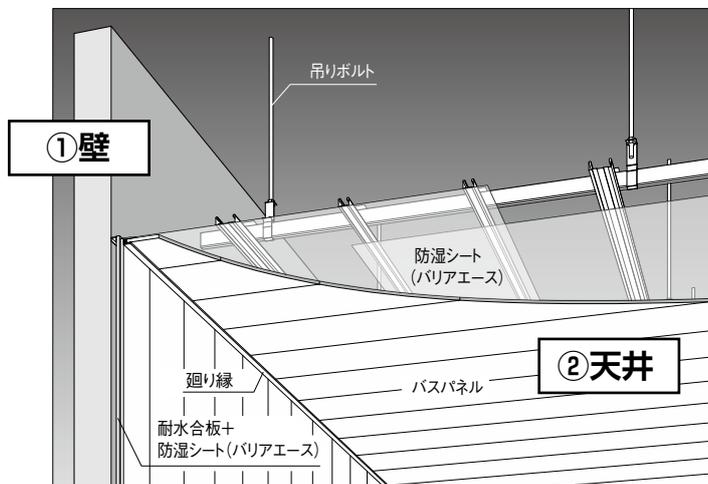
4. 役物(見切や出隅・水切など)の施工 p.5

5. 本体パネルの施工 p.6

6. 仕上げ p.6

●役物のオス部材の嵌合+隙間のある場所にはシーリング材を充填

※耐水合板：普通合板1類



## ⚠ 注意 壁施工の注意点

樹脂製バスパネル・バスミュール・サニタリーゾーンパネルは、下記条件を満たした施工を行ってください。

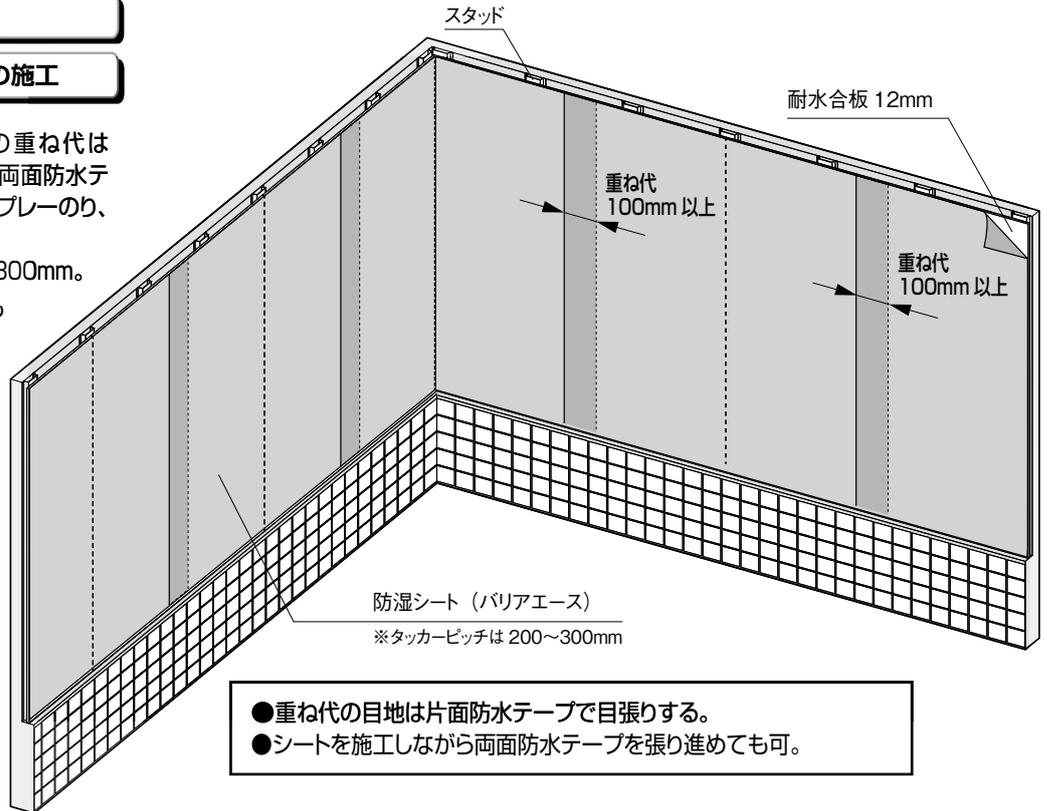
- 床タイル面および浴槽面より立ち上がり10cmはタイル仕様としてください。その際の下地は耐水合板(厚み12mm)に防湿シートを張った仕様としてください。
- 床面から1,500mm以上の高さの壁に施工する際には、軽量鉄骨下地に防湿シートを張った仕様で直接軽量鉄骨下地に留め付ける納まりも施工可能です。
- 樹脂製バスパネル・バスミュール・サニタリーゾーンパネルでシャワーフックや棚を取付ける場合は、下地がある場所に取付けるか、中空用アンカーで取付けるなどして十分に強度を確保してください。

### 1. 下地(スタッドや胴縁)の施工

### 2. 耐水合板12mmの施工

### 3. 防湿シート(バリアエース)の施工

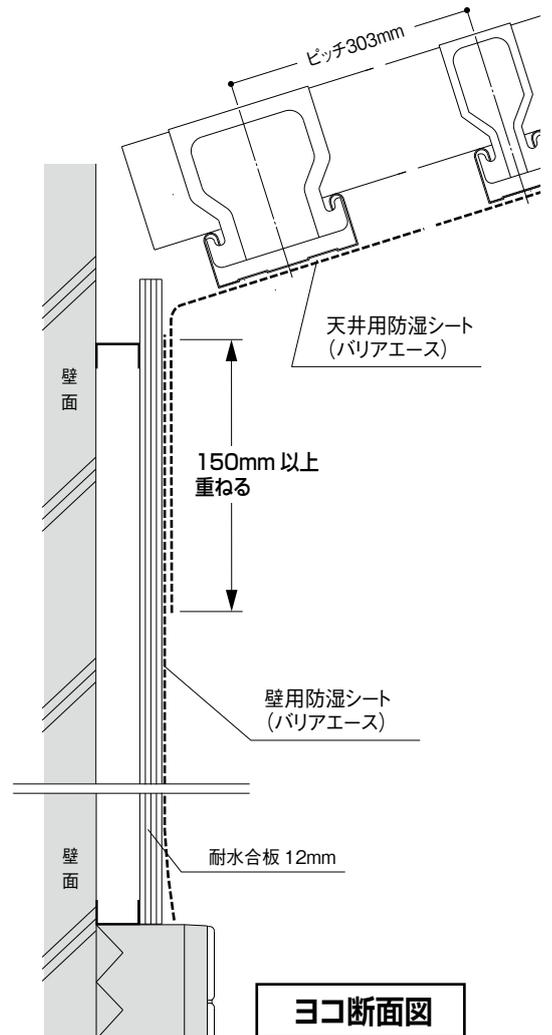
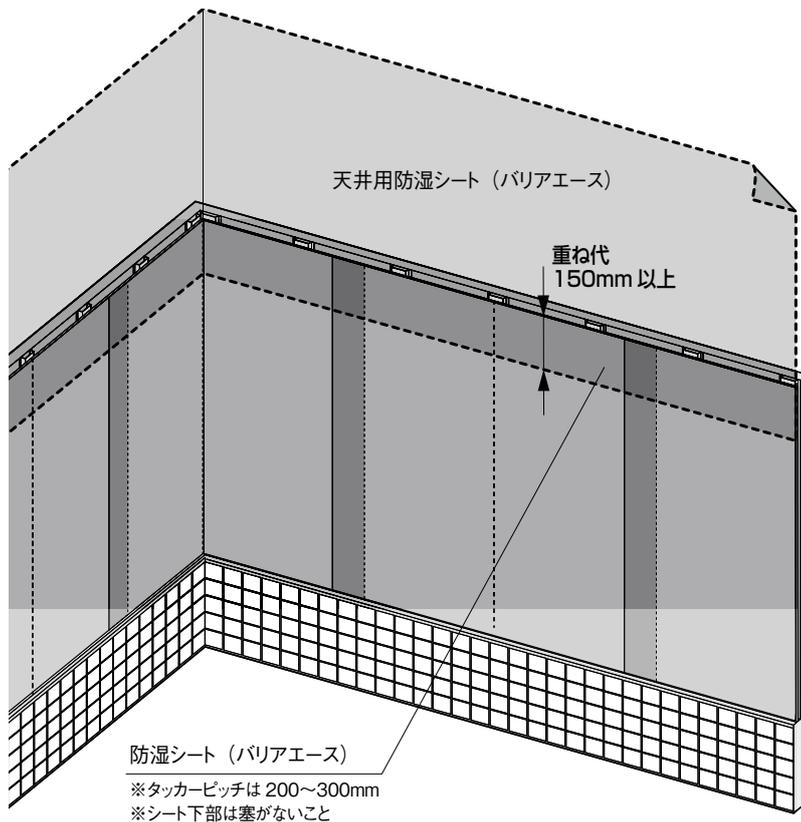
- 防湿シート(バリアエース)の重ね代は100mm以上とり、固定方法は、両面防水テープ(アクリル気密防水テープ)、スプレーのり、タッカーで留め付ける。  
タッカーの場合、ピッチは200~300mm。
- 防湿シートはヨコ張りでの施工も可とする。その際、固定方法や重ね部のテープはタテ張りと同様に施工を行う。



### 3. 防湿シート(バリアエース)の施工

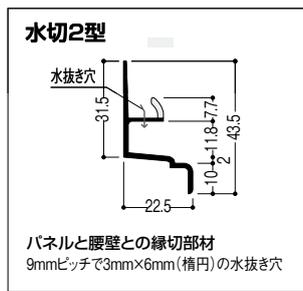
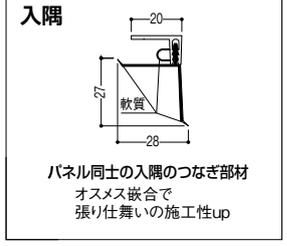
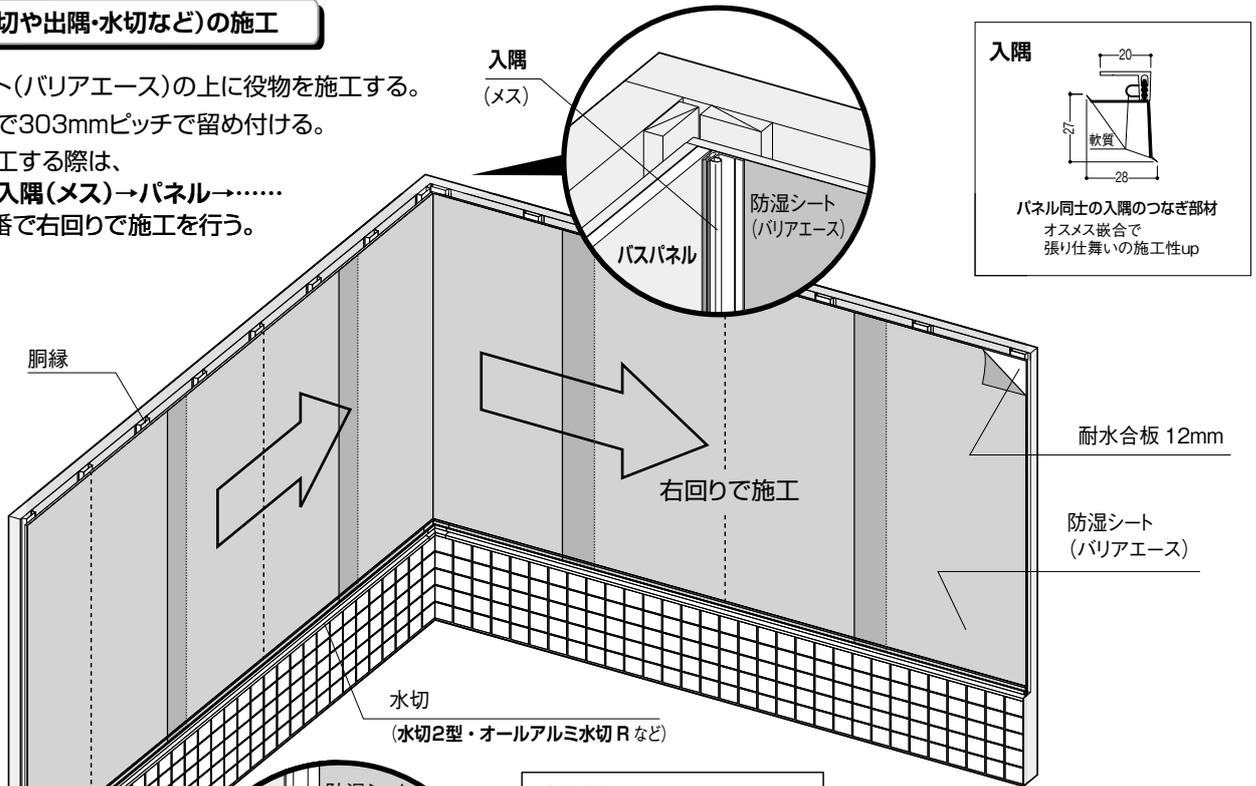
### 補足

- 天井もパネルを施工する場合は、壁取り合い部の防湿シートを役物の前に先張りしておく。

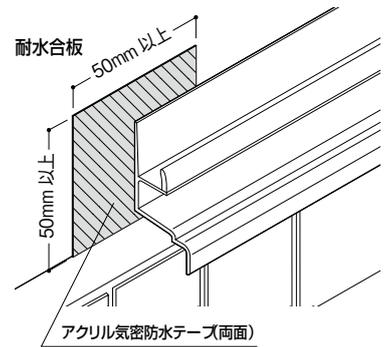


#### 4. 役物(見切や出隅・水切などの)の施工

- 防湿シート(バリアエース)の上に役物を施工する。
- 役物も釘で303mmピッチで留め付ける。
- 入隅を施工する際は、  
パネル→入隅(メス)→パネル→……  
という順番で右回りで施工を行う。

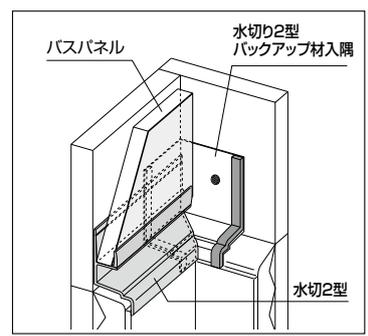
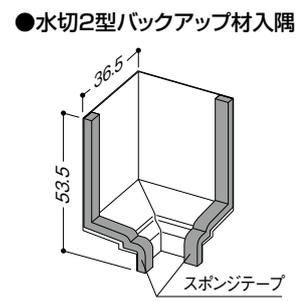
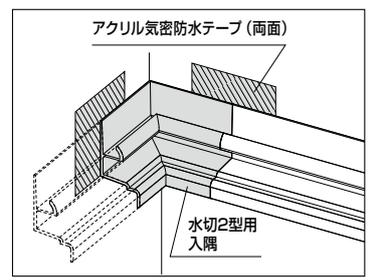
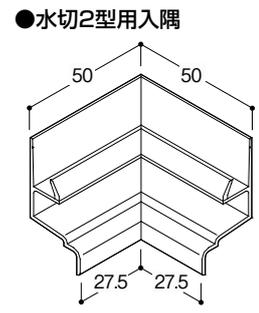


- 長手のジョイント  
突き付け+アクリル気密防水テープ裏張り

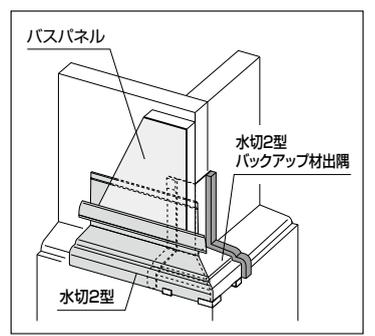
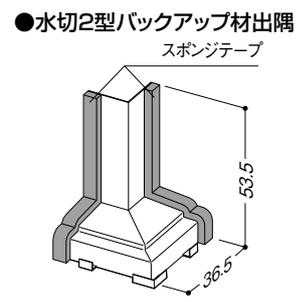
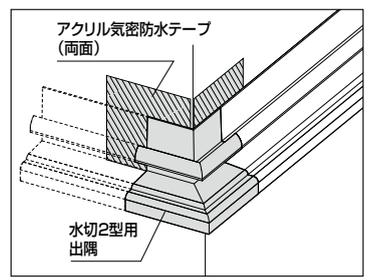
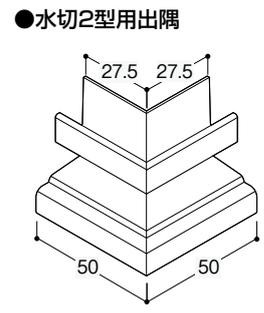


- 突き付け施工となる水切同士のつなぎ目には、下地に両面防水テープを張り付けて防水性を高めてください。(右図参照)
- また、入隅・出隅部材との突き付け部も同様に下地に両面防水テープを張り付けて施工してください。

#### ■入隅部納まり



#### ■出隅部納まり



- 水切2型入隅・出隅を使用する場合、出入隅部材と水切2型は突き付けで施工する。その際、ジョイント部の裏面にはアクリル気密防水テープを張る。
- バックアップ材入隅・出隅を使用する場合、バックアップ出入隅部材を先に施工し、水切2型は45°カットを行い、隅部まで施工する。

## 5. 本体パネルの施工

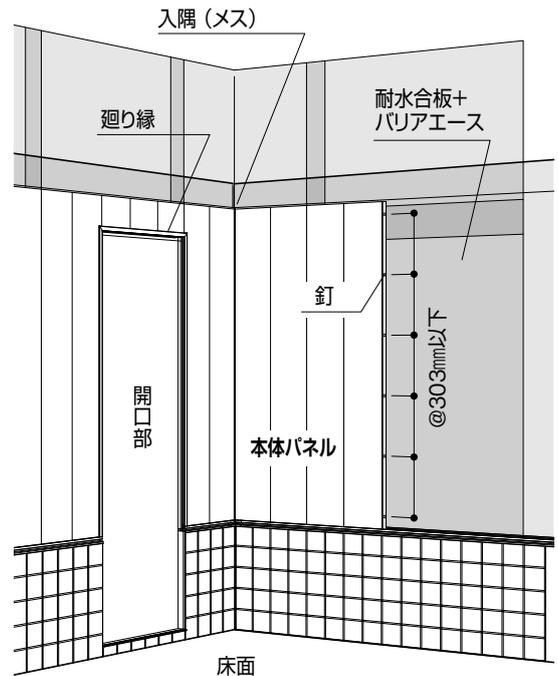
- 釘で留め付ける。

**バスパネルBTj、親水バスパネルBTj**  
 釘頭径※：5.5mm以上／釘長さ：30～40mm以上  
 ピッチ：303mm以下／ビス材質：ステンレス(推奨)

**バスパネルEX／U、サニタリーゾーンパネル、バスマニール**  
 釘頭径※：4mm以上／釘長さ：30～40mm以上  
 ピッチ：303mm以下／ビス材質：ステンレス(推奨)

※釘頭が小さいと抜け落ちてしまう恐れがあるため、ご注意ください。

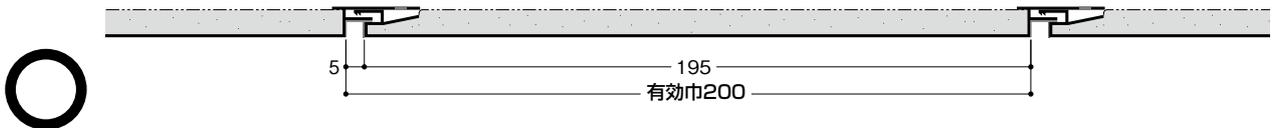
- バスパネルBTj、親水バスパネルBTjの有効巾の寸法を嵌合部で調整(目地調整)出しながら取付ける。
- バスパネルBTj、親水バスパネルBTjの有効巾を確認しながら施工すること。パネルには、目地調整のためのクリアランスを設けているため、奥まで差し込むと有効巾より狭くなり目地ズレの原因となる。
- 3m毎に墨打ちして、施工寸法に狂いがないか確認しながら施工する。



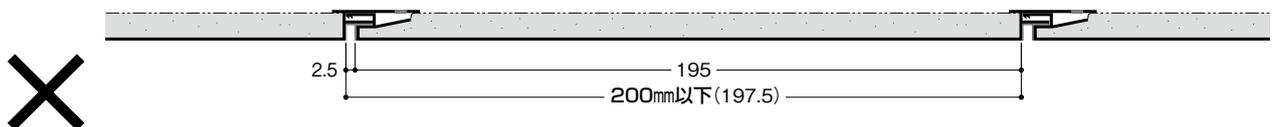
- 角コーナー(開口部)から順番に張り進める。
- 釘のピッチは303mm以下。

### ■バスパネルBTj・親水バスパネルBTj 本体の嵌合

- 有効巾200mmの寸法を出しながら施工



- 奥まで突き付けて施工すると有効巾200mmが出ない

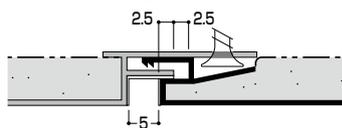


### ■目地調整について

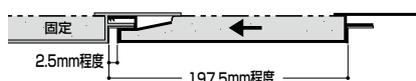
- 目地ズレ防止のため嵌合自体は余裕をもったクリアランス巾(下図)がありますので、施工時には有効巾200mmの寸法を出しながら正確に取付けることが可能です。

#### ■嵌合形状

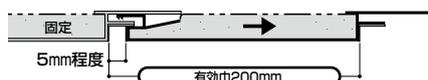
- バスパネルBTj、親水バスパネルBTj



手順1. 一旦、奥まで差込みます。

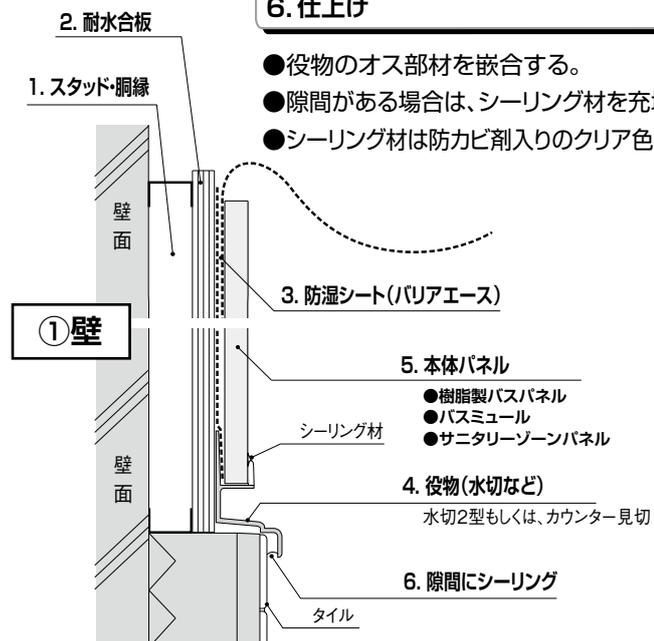


手順2. 目地巾の微調整をしながら有効巾200mm位置まで引き戻します。



## 6. 仕上げ

- 役物のオス部材を嵌合する。
- 隙間がある場合は、シーリング材を充填する。
- シーリング材は防カビ剤入りのクリア色を使用。

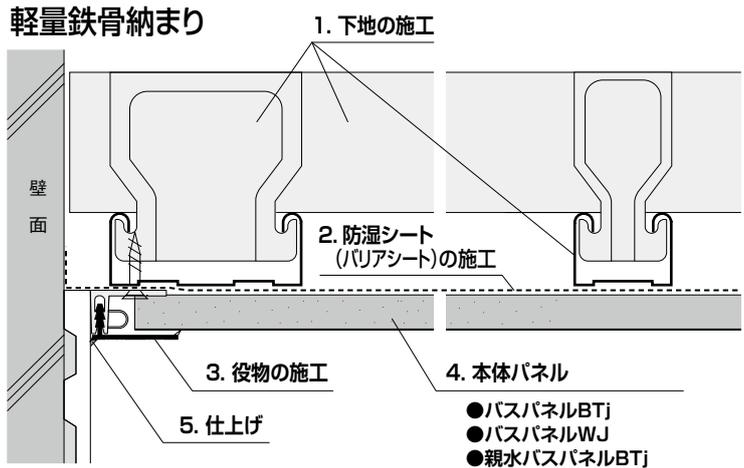


# ■施工手順 (バスパネルBTj・バスパネルWJ・親水バスパネルBTjのみ軽量鉄骨天井下地使用可)

## ②天井の施工(軽量鉄骨下地の場合)

- 1. 下地(軽量鉄骨)の施工 p.6
- 2. 防湿シート(バリアエース)の施工 p.6
- 3. 役物(廻り縁・ジョイントなど)の施工 p.7
- 4. 本体パネルの施工 p.8
- 5. 仕上げ p.8
  - 役物のオス部材の嵌合
  - 隙間がある場合はシーリング材を充填

### 軽量鉄骨納まり



## ⚠注意 天井施工の注意点

### 天井裏の換気について

- 浴室内の湿気による下地の腐食を防ぐため、天井裏換気(第2種換気)を行ってください。
- 換気回数は、浴室容積に対して4回/h以上としてください。
- 天井裏換気が無い場合、天井裏へ侵入した湿気が蓄積し、下地が腐食する恐れがありますので、少なくとも自然換気を行ってください。

- 必ず軽量鉄骨下地に防湿シート・防水テープを張ってください。
- 屋根の直下にバスパネルの天井がくる場合、屋根裏が高温になりますので熱を逃がすための小屋裏換気を行ってください。

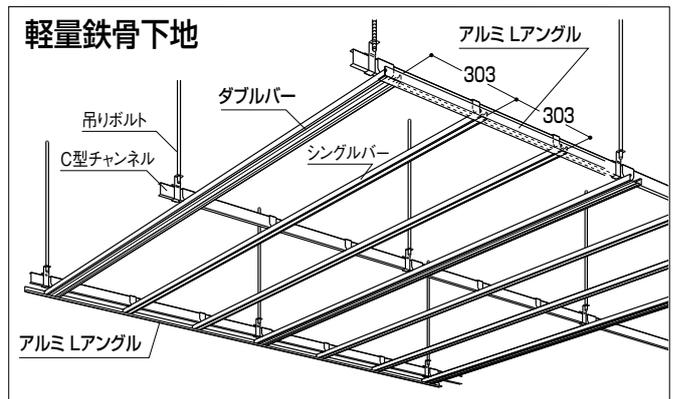
### 親水バスパネルBTjの施工について

- 結露水が天井勾配に沿って流れやすくするため、3°以上の傾斜をつけて施工してください。

### 1. 下地(軽量鉄骨)の施工

下記の点を守って、軽量鉄骨下地を組んでください。

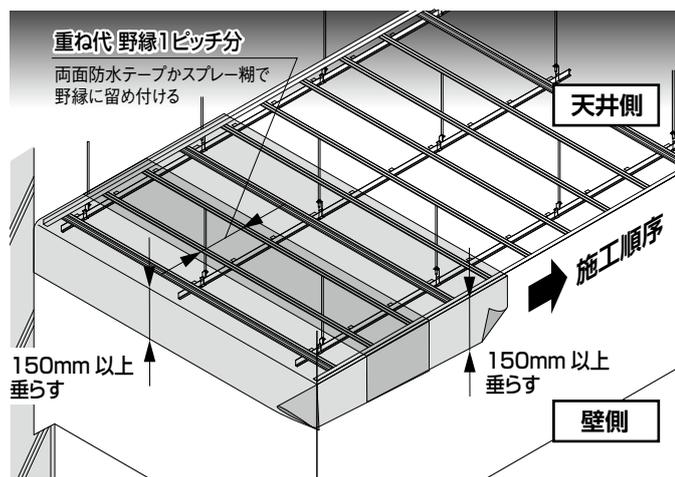
- 軽量鉄骨下地ピッチは303mm以下。  
※下地に不陸があると、本体パネルの施工で嵌合が硬くなり入りにくくなる恐れがありますので、レベル調整はしっかり行ってください。
- 廻り縁やジョイント等の役物を施工する箇所の下地はダブルバーとします。
- 野縁(ダブルバー・シングルバー)の断面方向の両端にはアルミLアングル(巾20mm)を取り付ける。  
※廻り縁のオス型が嵌合しにくくなるのを防ぐ。



### 2. 防湿シート(バリアエース)の施工

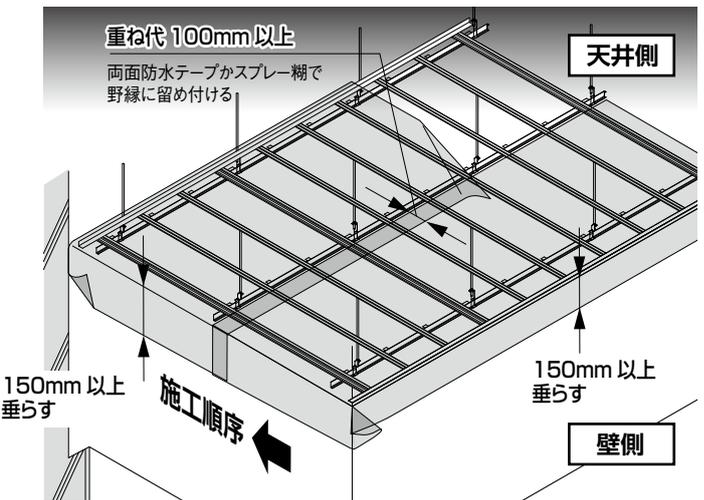
#### ヨコ張りの場合

- 勾配がある場合は下側から上側に向かって施工していきます。壁廻りには150mm以上垂らし、野縁に両面テープもしくはスプレー糊で施工します。
- 防湿シート(バリアエース)の重ね代は、下地のあるところで100mm以上とするため、野縁1ピッチ分重ねます。



#### タテ張りの場合

- ヨコ張り同様、両面防水テープかスプレー糊で施工します。
- 防湿シート(バリアエース)の重ね代は100mm以上とします。
- 壁廻りには150mm以上垂らします。

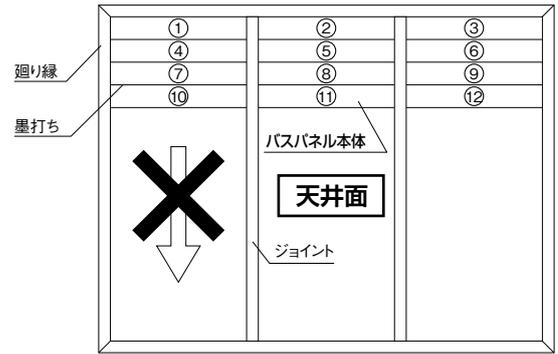


## ■大型物件の施工手順

- ①バスパネルの目地を通すため、あらかじめ墨打ちを行う。
- ②バスパネルの施工手順は右図のようにする。

### ⚠注意 施工時の注意

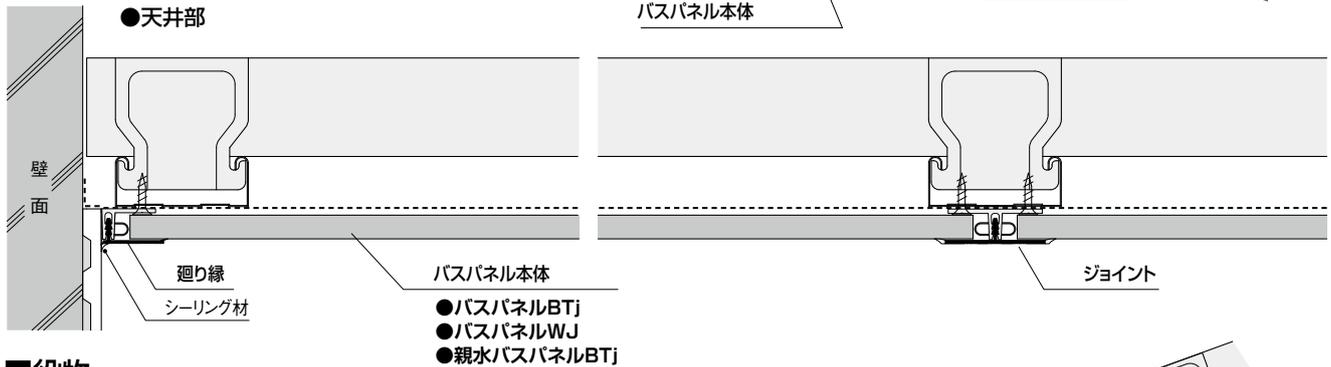
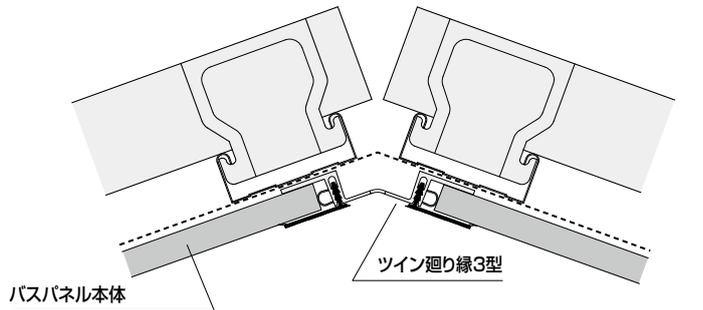
- 上記の手順を踏まないと、パネル間の目地ズレの原因となります。必ず手順に従って施工してください。



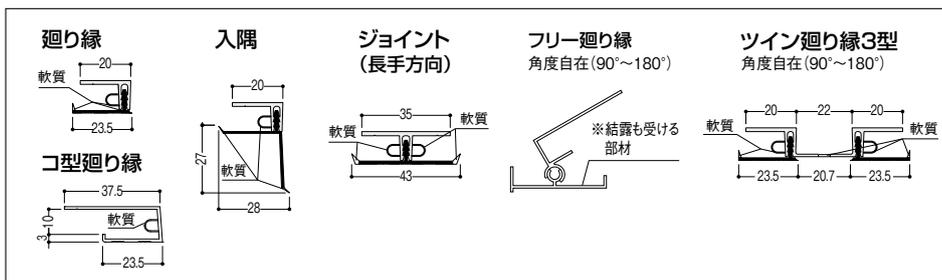
## 3. 役物(廻り縁・ジョイントなど)の施工

- 廻り縁を壁面の周囲の野縁に軽天ビスにて取付ける。
  - 張り仕舞い部分はオス・メス嵌合の廻り縁やコ型廻り縁を、勾配天井の場合は、フリー廻り縁の使用を推奨。
  - ジョイントやツイン廻り縁3型なども野縁に軽天ビスにて取付ける。
- ※隙間がある場合は、シーリング材を塗布する。

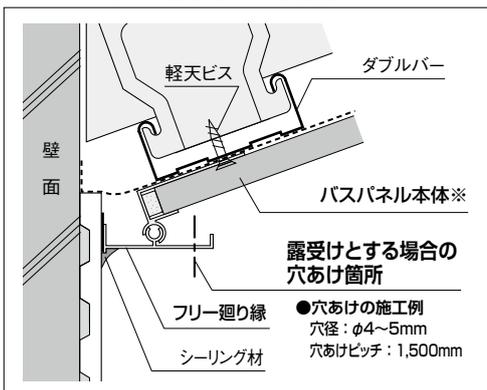
### ●勾配天井パネル突き合わせ部



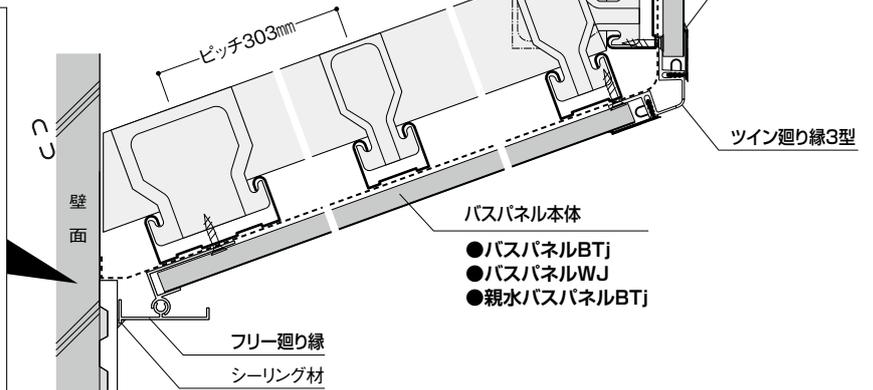
## ■役物



## ■フリー廻り縁穴あけ箇所



### ●段違い天井部



#### 4. 本体パネルの施工

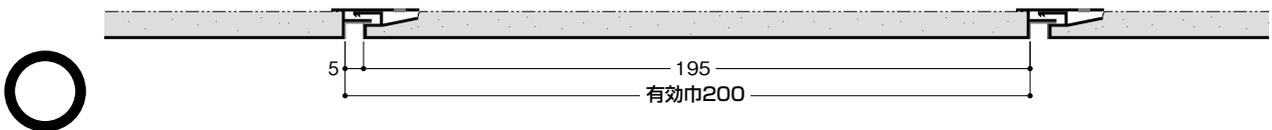
- 軽天ビス(ラップタイプ)で留め付ける。

ビス頭径：7~8mm以上／ビス長さ：20~30mm以上／ピッチ：303mm以下／ビス材質：ステンレス(推奨)

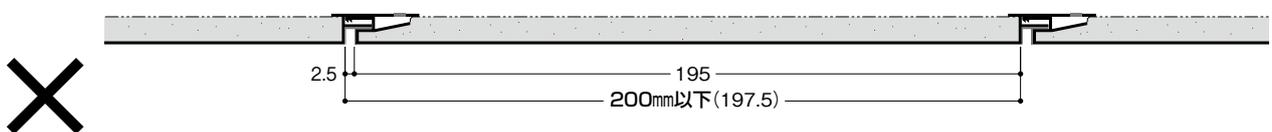
- バスパネルBTj、親水バスパネルBTjの有効巾の寸法を嵌合部で調整(目地調整)出しながら取付ける。
- バスパネルBTj、親水バスパネルBTjの有効巾を確認しながら施工する。パネルには、目地調整のためのクリアランスを設けているため、奥まで差し込むと、有効巾より狭くなり、目地ズレの原因となる。
- 3m毎に墨打ちして、施工寸法に狂いが無いか確認しながら施工する。

#### ■バスパネルBTj・親水バスパネルBTj 本体の嵌合

- 有効巾200mmの寸法を出しながら施工



- 奥まで突き付けて施工すると有効巾200mmが出ない

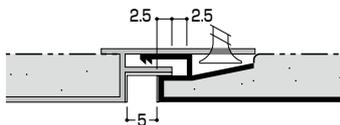


#### ■目地調整について

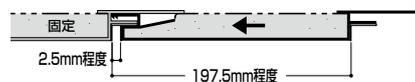
- 目地ズレ防止のため嵌合自体は余裕をもったクリアランス巾(下図)がありますので、施工時には有効巾200mmの寸法を出しながら正確に取付けることが可能です。

#### ■嵌合形状

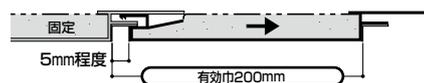
- バスパネルBTj、親水バスパネルBTj



手順1. 一旦、奥まで差し込みます。



手順2. 目地巾の微調整をしながら有効巾200mm位置まで引き戻します。

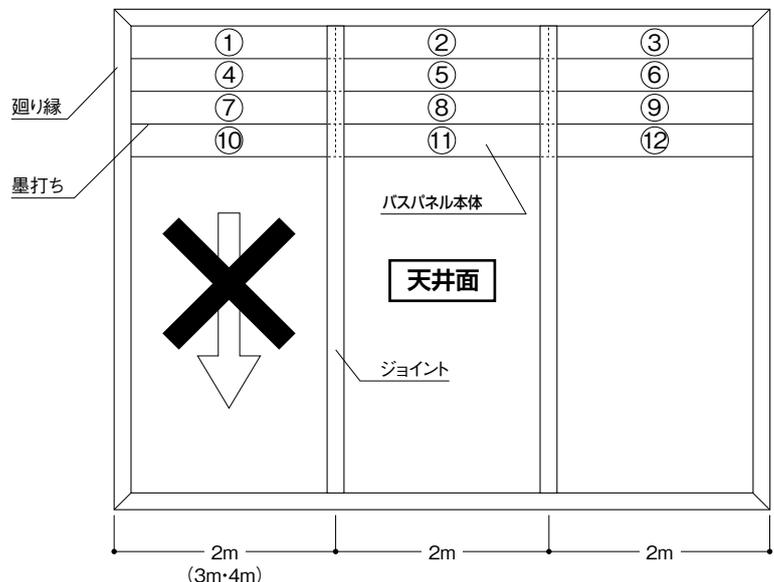
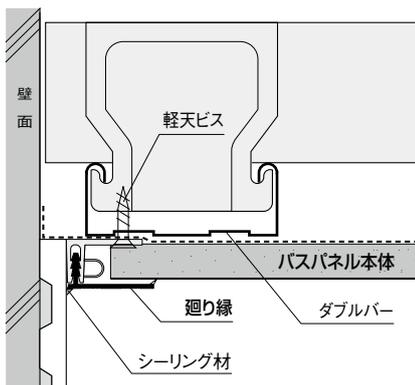


- バスパネルの施工手順は目地がズレないように右下図の手順で施工していく。

※やむを得ず、ヨコに張っていく場合は必ず都度、目地調整をすること。

#### 5. 仕上げ

- 役物のオス部材を嵌合する。
- 隙間がある場合は、シーリング材を充填する。
- シーリング材は防カビ剤入りのクリア色を使用。



## ■ 施工手順

### ②天井の施工(木下地の場合)

1. 下地(野縁・耐水合板※)の施工 p.10

2. 防湿シート(バリアエース)の施工 p.10

3. 役物(廻り縁・ジョイントなど)の施工 (p.11参照)

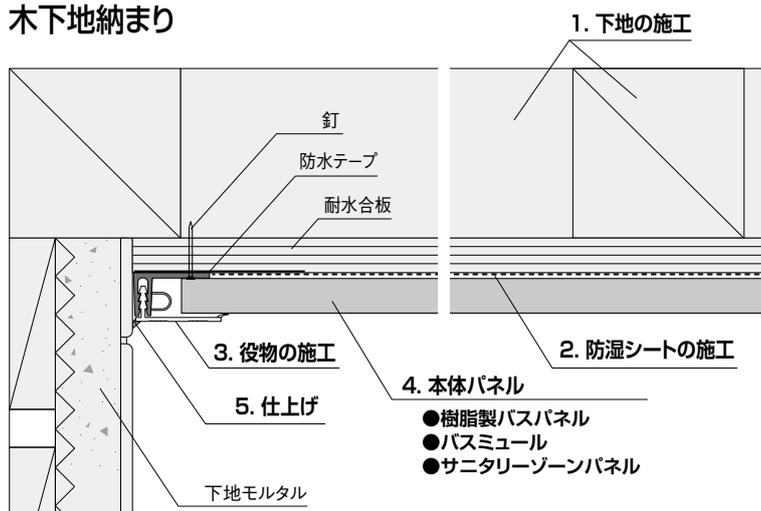
4. 本体パネルの施工 (p.11参照)

5. 仕上げ (p.11参照)

- 役物のオス部材の嵌合
- 隙間がある場合はシーリング材を充填

※耐水合板：普通合板1類

### 木下地納まり



## ⚠ 注意 天井施工の注意点

### 物件使用時の天井裏の換気について

- 浴室内の湿気による下地の腐食を防ぐため、天井裏換気(第2種換気)を行ってください。
- 換気回数は、浴室容積に対して4回/h以上としてください。
- 天井裏換気が無い場合、天井裏へ侵入した湿気が蓄積し、下地が腐朽する恐れがありますので、少なくとも自然換気を行ってください。
- 湿気による木下地の腐食を防ぐため、木下地とパネルの間に防湿シートを全面に張ってください。シートのつなぎ目および隅部は防水テープを張り、天井裏に湿気が侵入しないようにしてください。

- 屋根の直下にバスパネルの天井がくる場合、屋根裏が高温になりますので熱を逃がすための小屋裏換気を行ってください。

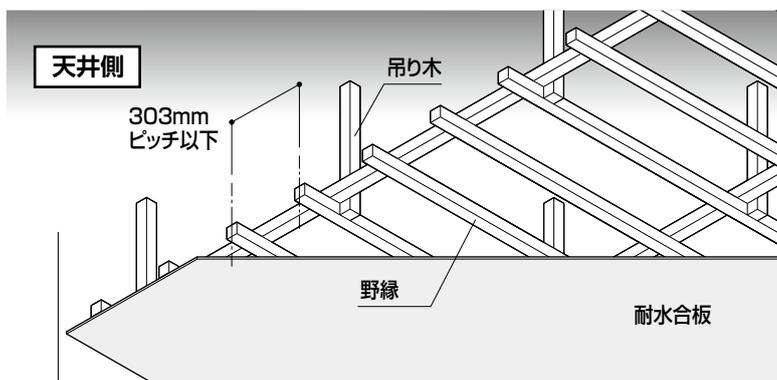
### 親水バスパネルBTjの施工について

- 結露水が天井勾配に沿って流れやすくするため、3°以上の勾配をつけて施工してください。

### 1. 下地(野縁・耐水合板)の施工

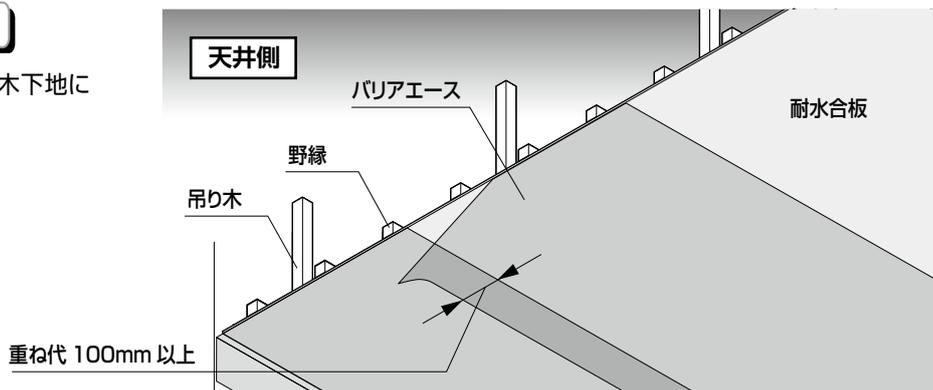
下記の点を守って、木下地を組んでください。

- 木下地ピッチは303mm以下とする。
- ※ 下地に不陸があると、本体パネルの施工で嵌合が硬くなり入りにくくなる恐れがあるので、レベル調整はしっかり行うこと。
- ※ レベル調整は廻り縁のオス型が嵌合しにくくなるのを防ぐ。



### 2. 防湿シート(バリアエース)の施工

- 防湿シート(バリアエース)はタッカーで木下地に留め付ける。
- 重ね代は100mm以上とする。

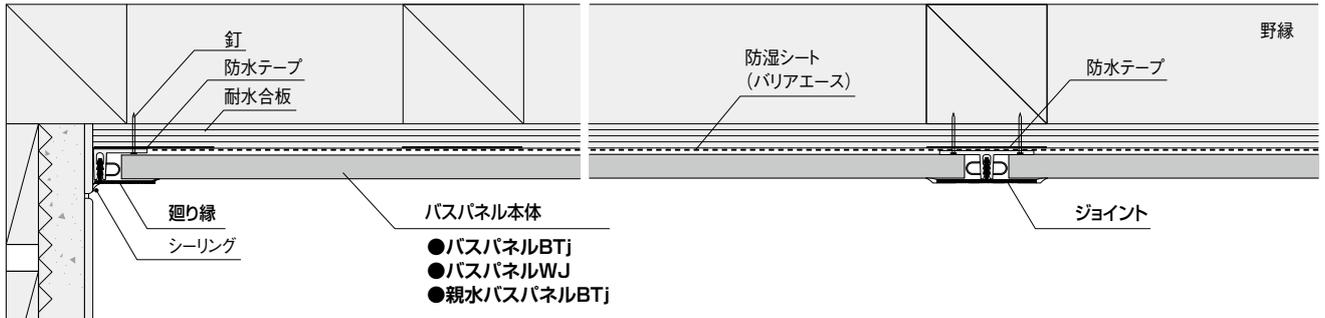


### 3. 役物(廻り縁・ジョイントなど)の施工

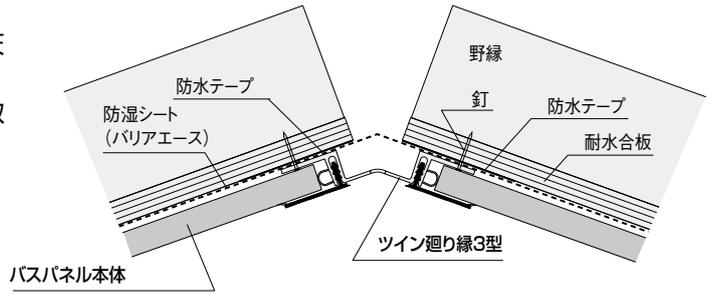
- 廻り縁を壁面の周囲の野縁(耐水合板)に釘にて取付ける。
  - 張り仕舞い部分はオス・メス嵌合の廻り縁やコ型廻り縁を、勾配天井の場合は、フリー廻り縁の使用を推奨。
  - ジョイントやツイン廻り縁3型なども野縁(耐水合板)に釘にて取付ける。
- ※隙間がある場合は、シーリング材を塗布する。

木下地納まり

#### ●天井部



#### ●勾配天井パネル突き合わせ部



### 4. 本体パネルの施工

- 釘で留め付ける。

バスパネルBTj、バスパネルWJ、親水バスパネルBTj

釘頭径※：5.5mm以上／釘長さ：30~40mm  
ピッチ：303mm以下／釘材質：ステンレス(推奨)

バスパネルEX/U、サニタリーゾーンパネル、バスミュール

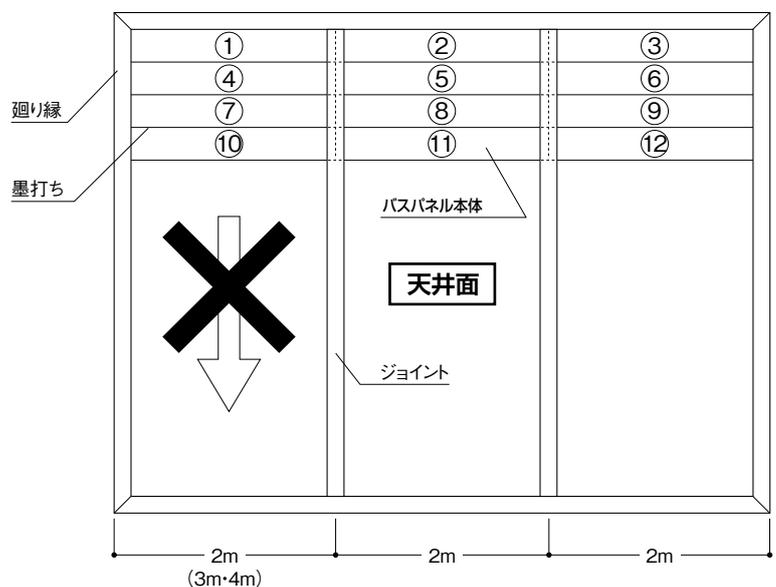
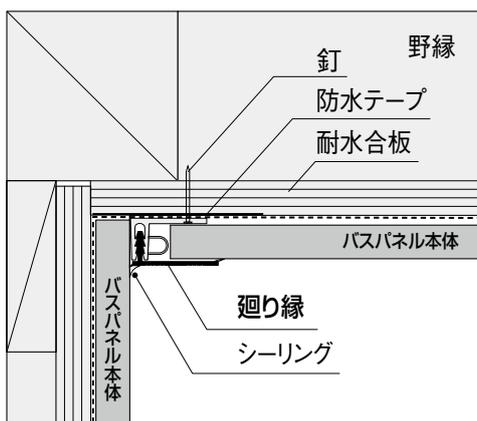
釘頭径※：4mm以上／釘長さ：30~40mm  
ピッチ：303mm以下／釘材質：ステンレス(推奨)

※釘頭が小さいと抜け落ちてしまう恐れがあるため、ご注意ください。

- バスパネルBTj、親水バスパネルBTjの有効巾の寸法を嵌合部で調整(目地調整)出しながら取付ける。(p.9参照)

### 5. 仕上げ

- 役物のオス部材を嵌合する。
- 隙間がある場合は、シーリング材を充填する。
- シーリング材は防カビ剤入りのクリア色を使用。



# 樹脂部材一覧

<b>1 廻り縁</b> 	<b>2 コ型廻り縁</b> 	<b>3 ツイン廻り縁3型</b> 	<b>4 入隅S</b> 	<b>5 サニタリーゾーン入隅</b> 	<b>6 入隅</b> 
壁・天井の縁切り部材 オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up	壁・天井の縁切り部材	角度自在の出隅 (90°~180°)・入隅オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up	住宅専用部材 オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up	パネル同士の入隅のつなぎ部材 オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up	パネル同士の入隅のつなぎ部材 オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up
<b>7 出隅2型</b> 	<b>8 見切S</b> 	<b>9 見切</b> 	<b>10 カウンター見切</b> 	<b>11 カウンター見切用入隅</b> 	<b>12 カウンター見切用出隅</b> 
パネル同士の出隅のつなぎ部材 オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up	住宅専用部材 オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up	額縁などの周囲縁切り部材 オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up	パネルとカウンターとの縁切部材 9mmピッチで3mm×6mm(楕円)の水抜き穴	カウンター見切の コーナー入隅部材	カウンター見切の コーナー出隅部材
<b>13 水切2型</b> 	<b>14 水切2型用入隅</b> 	<b>15 水切2型用出隅</b> 	<b>16 バックアップ材入隅</b> 	<b>17 バックアップ材出隅</b> 	<b>18 ジョイント(長手方向)</b> 
パネルと腰壁との縁切部材 9mmピッチで3mm×6mm(楕円)の水抜き穴	水切のコーナー入隅部材	水切のコーナー出隅部材	水切の入隅部の防水バックアップ材	水切の出隅部の防水バックアップ材	パネル同士のジョイント部材 オスメス嵌合で 張り仕舞いの施工性up

●評セットと同梱されている廻り縁は**1**廻り縁(嵌合タイプ)になります。セット梱包品の長さは本体タイプによって異なります。  
 ●**2**コ型廻り縁、**8**見切S、**9**見切はバスパネル本体の小口面まで化粧されています。

## 樹脂部材納まり図

<b>1 廻り縁</b> 	<b>2 コ型廻り縁</b> 	<b>3 ツイン廻り縁3型</b> 	<b>4 入隅S</b> 	<b>5 サニタリーゾーン入隅</b> 	<b>6 入隅</b> 
<b>7 出隅2型</b> 	<b>8 見切S</b> <p>※浴室リフォームの場合の納まり</p>	<b>9 見切</b> 	<b>10 カウンター見切</b> 	<b>13 水切2型</b> 	<b>18 ジョイント</b> 